

平成 30 年度 新潟市新津鉄道資料館第 1 回運営協議会 会議録

■日 時：平成 30 年 5 月 30 日（水） 11：00～12：30

■会 場：新潟市秋葉区新津地域学園 407 研修室

■参加者：新津鉄道資料館運営協議会 金山委員、帆苺委員、南雲委員、澤野委員、野本委員、
斎藤委員

歴史文化課 小沢課長

新津鉄道資料館事務局 高山館長、水澤副館長、岩野学芸員

（以上 10 名）

■傍 聴 人：0 人

■資料配付：新津鉄道資料館運営協議会次第及び別紙 1～6

■意見聴取：1 報告事項

- 1) 平成 29 年度入館者数実績報告
- 2) 平成 29 年度事業報告
- 3) 平成 29 年度アンケート集計結果報告
- 4) その他

2 協議事項

- 1) 平成 30 年度事業方針と事業計画について
- 2) その他

（事務局から案件を説明し、その後に意見聴取をおこなった）

高山館長	定刻になりましたので、ただ今より第 1 回新津鉄道資料館運営協議会を開会いたします。歴史文化課小沢課長より一言ご挨拶申し上げます。
小沢課長	今年、新津鉄道資料館は 35 周年を迎えました。上越新幹線は 1 年先輩にあたります。月日のたつのは早いと感じています。私ごとですが、中学生のころは鉄道が好きだったので所管課長になったことで少し知識も活かせるかなと感じています。 委員の皆さま方からは、これらの事業や施設運営などにも幅広いご意見を頂戴したいと思っています。新津鉄道資料館がよりよい方向で更なる魅力向上のためにお力添えいただけますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。
高山館長	それでは、自己紹介に移ります。各委員のみなさま、自己紹介をお願いいたします。なお、本日、葛西委員が所用の為、欠席となります。
各委員・事務局	（各自、自己紹介）
高山館長	では、最初に新津鉄道資料館運営協議会要綱第 6 条に基づき、会長・副会長を委員のみなさんの中から互選していただきます。ご意見等ございましたらお願いいたします。 （意見等無し）

	<p>それでは事務局に腹案がございますので提案させていただいてよろしいでしょうか？</p>
	<p>(一同, 異議なしの声)</p>
高山館長	<p>ありがとうございます。それでは会長に金山委員さま。副会長に野本委員さま兩名をお願い申し上げたいと思います。</p> <p>みなさま, よろしければ拍手で承認お願いいたします</p>
	<p>(一同, 拍手)</p>
高山館長	<p>それでは選任されました金山会長は座長席に移動をお願いいたします。</p> <p>これより進行を金山会長よりお願いいたします。また, あわせて一言ごあいさつをお願いいたします。</p>
金山委員	<p>前年に引き続いて会長ということで引き受けさせていただきます。</p> <p>平成23年度に市の文化施設アドバイザーとしてこの資料館の活用を市長に提言し, 市を挙げて重点政策として取り組んでリニューアル事業に取り組んでいただきました。非常に地域との連携がうまくいっていると感じます。商店街も来るたびに元気になっているように感じます。この資料館を皆さんと共に益々発展させていくために努めていきたいと思えます。よろしく申し上げます。</p>
金山座長	<p>それでは会議次第に基づいて進行してまいります。事務局, 事業報告を一括して説明をお願いします。</p>
水澤副館長	<p>最初に資料の訂正をお願いいたします。別紙4の平成29年度新潟市新津鉄道資料館主催事業報告の長期事業報告に「四国鉄道文化館交流事業」の追加をお願いいたします。7月・11月に両館でのイベントに其々が出店するとともに職員による講演等を実施しています。</p> <p>それでは別紙3-1をご覧ください。平成29年度新津鉄道資料館入館者実績は67,620人で,平成28年度実績と比較すると20%以上の増加でした。特に有料入館者が約30%の増加でした。新規展示車両や新規運行したミニSLの効果があったと考えられます。</p> <p>歴史文化課の組織目標としていた入館者数56,000人を約11,000人上回ることができました。年度の概況は記載してあるとおりです。</p> <p>別紙3-2をご覧ください。月別では新規展示車両の公開記念事業「サンクスフェア2017」が盛況で,3日間で約1万人の来場があった7月が突出しています。新規展示車両の輸送風景がテレビで県内外に放映された影響もあり,7月,8月で約25,000人と年間入場者数の37%以上を占めました。また,この両月は昨年と比較して73%,10,500人の増加でした。</p> <p>別紙3-3をご覧ください。新津駅東口に設置しているサテライト「ていしゃば」の実績です。利用者は年間約8,200人で昨年より約400人の増加でした。また,レン</p>

	<p>タサイクルは昨年より 340 台の増加で 768 台の利用でした。SNS等の口コミで利用者が増加してきたと考えています。</p>
	<p>平成 29 年度事業報告をさせていただきます。</p> <p>別紙 4 をご覧ください。平成 29 年度は 43 の企画事業を実施し、5 つの長期事業、6 つの共催・協賛事業を実施しました。一般の方が撮影した鉄道写真を紹介する「鉄×フォト」事業は 2 回開催し、作品を階段わきに掲示しています。7 月 15 日から 3 日間は新規実物車両導入展示記念式典と特別公開事業を実施しました。3 日間で来館者 9,800 人でした。特別展は 7 月 15 日から 9 月 4 日まで「瀬古龍雄鉄道写真展 I」を開催し、合わせて特別展解説会や鉄道史学会会長大島登志彦氏をお迎えしての特別展記念講演会を実施しました。10 月 7 日には 1 日館長事業として鉄道愛好家として有名な向谷実さんをお迎えし「鉄道お宝トーク&ライブ」を開催しました。新しい試みとして毎月第 4 日曜日に「車内公開」事業を実施し、SL 以外の車両をローテーションで毎月 2 両、車内公開を実施しました。また、企画展示室で「トイトレインレイアウト」を長期に実施すると共にキッズコーナーを広げるなどファミリー層に対応した事業を実施しました。長期事業としては巡回バス事業を実施し、40 日間で約 5,000 人の乗車がありました。共催、協賛事業として新津美術館「松本零士展」に併せてミニ SL を銀河鉄道 999 仕様にして運行し大変好評でした。この事業では新津商店街でも銀河鉄道 999 のパネルを多数設置するなど、新津美術館、当館、新津商店街が初めて連携した事業となりました。</p>
岩野学芸員	<p>別紙 5 のアンケート集計結果をご覧ください。回答率は約 1%です。回答者数は来館者数に比例しています。世代別ではすべての年代で満遍なく来館してくれています。人数は 2 人～4 人の家族連れが多く、来館のきっかけは県外の方は WEB や旅行雑誌で、県内の方は市報やチラシでの来館が多いようです。来館の比率は県外 50%、市内 27%、県内 18% で県外客の割合が多い傾向です。市内では人口の割合によるのか中央区が 24% と地元の秋葉区以外では最も多く、次いで西区 14% でした。秋葉区に隣接する江南区、南区が少ない傾向にあるので PR については重点的に行っていく必要があると考えています。来館目的は鉄道趣味の割合がもっとも高く、旅行も観光と鉄道旅行を合わせると 22% と高い傾向にあります。県外からは鉄道、旅行目的で、市内からは家族サービスなど子どもを連れてくる施設として利用されている傾向にあるようです。</p>
金山座長	各報告事項に各委員のみなさん、何かご質問・ご意見がありますでしょうか
南雲委員	レンタサイクルは資料館に行く方々だけしか利用できないのですか。
水澤副館長	レンタサイクルは当館への 2 次交通として用意していますが、地域の観光目的にも貸出ししています。ただし、買い物等で利用希望者には新津交流センターで貸し出ししているレンタサイクルを紹介しています。

南雲委員	外国の方は主にどこの国から来られている方が多いのですか。
岩野学芸員	多いのは台湾，韓国，アメリカ，それに英語圏の方も多いです。その他はロシアやフランスの方も来館されます。鉄道はワールドワイドだと感じます。
沢野委員	アンケートには交通手段の項目はないのですか。
岩野学芸員	資料には記載がありませんが，アンケートには項目はありまして，多いのは自動車，電車です。
野本委員	レンタサイクルにカゴがあれば何かヘッドマーク的なものをつけてはどうでしょうか。
水澤副館長	現在はカゴにばんえつ物語号の写真を題材にしての「号車番号」をつけてあります
斎藤委員	アンケートで「どの展示資料に興味があったか」を聞く項目が欲しいですね。
岩野学芸員	わかりました。
金山座長	どの展示に人気があると事務局は考えていますか。
水澤副館長	一番は実物車両で，二番は鉄道運転シミュレータ，三番は新潟・新津の歴史を紹介するゾーンだと感じています。
帆苅委員	鉄道運転シミュレータは地元新潟の映像だとさらに良いと感じます。
水澤副館長	地元映像仕様ですと経費が掛かってしまいなかなか導入できません。 今後の課題とさせていただきます。
金山座長	全体の説明後に再度，質問，意見があればお願いします。 それでは協議事項に移ります。事務局説明願います。
岩野学芸員	別紙 6-1「平成 30 年度新津鉄道資料館事業方針概要」を参照ください。 全体の方針として 4 点です。 1 点目は各種事業を通して集客を目指していきます。組織目標を定め「鉄道の街にいつ」のブランドを活かし全国からの集客を図っていきます。2 点目は施設として運営のノウハウを蓄積していきます。とりわけ，鉄道文化に関する知識や施設運営に関する手法などを共有し，積極的に活用していきます。3 点目は地域と長期的且つ，安定的な関係を構築していきます。地域における拠点施設としての役割を果たしていきます。4 点目は当市の新たな魅力づくりを図っていくことです。具体的な取り組みについては展示公開事業として 4 月に新潟駅が高架駅になることを記念して 7 月に特別展「新潟駅図鑑～駅と鉄道の 120 年」を実施します。その他，各企画事業を予定しています。資料収集保存事業では寄贈いただいた資料，とりわけ瀬古龍雄氏からの資料の整理を中心に実施します。調査研究では鉄道 OB の方々から当時の話を聞き取りする記録集を作成します。教育普及事業では主にボランティア事業や学校への出前授業，鉄道講演会などを実施します。広報宣伝事業では資料館の認知度をさらに上げていくため SNS での細やかな発信，ホームページの充実，チラシの効果的な配布などを中心に実施していきます。

	<p>平成 30 年度新津鉄道資料館事業計画については別紙 6-2 に記載してありますのでご覧ください。</p>
金山座長	<p>各報告事項に各委員のみなさん，全体を通して何かご質問・ご意見がありますでしょうか。</p> <p>私からの意見です。新津鉄道資料館の基本計画にも記載がありますが主なスタンスは地域の魅力を掘り起こして魅力を発信する，そのために資料収集や展示や教育普及があるのではないのでしょうか。方針の最初に行の「他の館は・・・」はいらないと思います。さらには「来館者の増加に（も）」を追加してください。</p> <p>商店街と資料館の役割をはっきりさせて連携すればもっと良くなると思います。</p>
水澤副館長	<p>わかりました。</p>
金山座長	<p>他に質問，意見等が無ければ以上で次第のすべての案件を終了します。</p> <p>司会を事務局にお返しします。</p>
高山館長	<p>ありがとうございました。以上をもちまして平成 30 年度第 1 回新津鉄道資料館運営協議会を終了いたします。ご参集の皆さま，大変ありがとうございました。以上をもちまして閉会いたします。</p>